

青森県保健医療計画の中間見直し（計画変更案）に対する意見・対応

1. 関係機関照会（令和3年2月19日～3月12日）

照会先：医療関係団体、市町村、救急業務を処理する一部事務組合、広域連合、介護関係団体、保険者協議会

→提出のあった意見は下表のとおり

番号	分類	意見の内容（一部要約）	対応区分	意見への対応状況（県の考え方）
1	総合的意見	介護保険では在宅医療を重視している中、我々訪問介護は、住み慣れた場所での生活支援を続けているが、医師不足や在宅医療への理解不足で在宅で生活できるのに入院に向かってしまう利用者が多い。 今回のコロナ感染症により医療への負担が増大する中で、必要な人に必要な医療が届けられるよう、医師への在宅医療についての理解が深まる対策をお願いしたい。そのために我々も協力は惜しまない。訪問看護や理学療法など体制は整ってきており、医師の関わり方で変わっていけると考えている。	実施段階検討	いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
2	各論（精神疾患対策）	（計画変更案89頁 ③認知症（目標）看護職員認知症対応力向上研修受講者） R5の目標値（450名）を確認願いたい。 H28から今年度まで、県からの受託により当該研修を開催している。R3年は受託していないが、研修の予定等について、教えてほしい。 （県からの受託開催で受講済み人数：5回、285名 日本看護協会オンデマンド研修開催（本会で独自開催） 受講済み人数：7回、1085名 計1,370名が受講済）	その他	目標項目に設定している「看護職員認知症対応力向上研修」は、県が実施主体の研修となっており、日本看護協会オンデマンド研修は含まれません。（根拠：認知症地域医療支援事業実施要綱）そのため本研修の修了者は、県が貴協会に委託して開催した研修の修了者285名となります。 目標値は研修受講者数の推移を考慮した上で設定しております。 （R5年度末の目標値：450名） 本研修は令和3年度以降も継続して実施していきたいと考えておりますので、研修実施にあたり、引き続き御協力をよろしくお願いいたします。
3	その他	（計画変更案8頁、青森県がん診療連携推進病院164頁、へき地診療所） 「現状と課題」の図表の情報が更新されていない。	その他	中間見直しにより、「施策」を追加・変更する場合は、その背景となった現状と課題の追記等を行うこととしています。 今回は、「現状と課題」の文章、図表等の時点更新を行わず、次期医療計画策定の際に更新のうえ記載します。

2. パブリックコメント（令和3年2月22日～3月12日）

意見なし